

公立久米島病院だより

新任医師 あいさつ

公立久米島病院 内科

垣花 一慶



久米島の皆様、はじめまして。今年度4月より、公立久米島病院に医師として働くことになりました垣花一慶ともうします。私は沖縄県出身で、栃木県にある自治医科大学を卒業し、その後沖縄に戻り、県立病院で3年間の研修生活を経て、現在久米島病院で働かせて頂くこととなりました。医師としても社会人としても若輩者ですが、これから内科医として一生懸命頑張りますので宜しくお願い申し上げます。町で見かけたら、声をかけて下さい。

子どもの健康と生活習慣
久米島子ども健康
プロジェクト

公立久米島病院 小児科

渡邊 (旧姓: 矢崎) 幸

この連載も早3年目となりました。今回は子どもの健康そして久米島子ども健康プロジェクトについてお話したいと思います。

30〜40年前と比べ今の子ども達の生活環境は大きく変化しています。ゲームや携帯の普及により「遊び」が変化し運動不足の傾向となっており、外食産業の発展やコンビニの普及による食事やおやつの変化により摂取エネルギーの過多を招いています。その事が子どもの健康に大きく影響を及ぼしており、日本の肥満児童の割合は1968年には3.2%でしたが、2010年には8.5%と40年で2.5倍にも増えています。そして、子どもでも生活習慣病(高血圧、高脂血症、糖尿病など)を発症することや、子どもの頃に肥満があると成人してから心筋梗塞や脳卒中で死亡する率が増えることなどが

多くの研究でわかってきています。

長寿県と言われていた沖縄県ですが2013年には男性の平均寿命30位、女性3位と年々下降し、逆に成人肥満の割合は男女ともに全国1位、生活習慣病による死亡率も年々増加しています。これは戦後早期からの食事の欧米化や車社会が発展したことなど、沖縄では戦前と比べて生活が急激に大きく変化したことが大きな要因です。

そして、このような自然に囲まれた久米島でもこの変化に大きく影響を受け、今子どもの健康が危ぶまれています。平成24年度の久米島町子ども健康診では、肥満児童の割合は13%と全国平均の1.5倍であり、血圧高値の子どもは14%(全国平均:3.6%)、LDL(悪玉コレステロール)高値の子どもは19%、糖尿病予備群の子どもは4.6%と高い割合を示しています。

久米島町では平成24年度より「久米島子どもプロジェクト」として病院・役場を中心に学校・地域で協力し合い、子どもの健康・生活環境の改善と健康指導を目的とした様々な活動を行っています。この活動には地域の皆さま

んのご理解とご協力が大きな力となりますので、ぜひこの連載や様々な機会を通して一緒に考えていただきたいと思います。

